

2014年11月26日(水)
株式会社リクルートライフスタイル
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD

2014年年末年始ツアー問合せ概況

日並びと円安影響で動きは鈍く、出発希望日が分散する傾向。
羽田発は前年比109%で引き続き好調。

エイビーロード・リサーチ・センター（株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦）は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』（<http://www.ab-road.net/>）における、カスタマーの海外ツアーへの問合せ実績を集計し、2014年年末年始期間の海外旅行マーケットを考察いたしました。

<結果要約>

1. 年年末年始ツアー問合せ数（前年比）、問合せ時期・・・P2

- 全国計で前年比80%の出足。主要出発空港別では羽田発が109%と好調。
- 前年と比べて、9月以前の問合せのシェアが高く、予約行動は早まる傾向。

2. 年年末年始の人気旅行先・・・P3

- 南北アメリカ、ヨーロッパ、ハワイのシェアがアップ。
- 問合せシェア1～3位はオアフ島、台北、パリ。4位ソウルが復活の兆し。

3. 年年末年始ツアーの平均日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P4

- 8日間・9日間ツアーのシェアが減少し、平均旅行期間は5.7日（前年5.8日）。
- 出発希望日ピークはふた山（M字）に分散。帰国ピークは1月2日の予想。

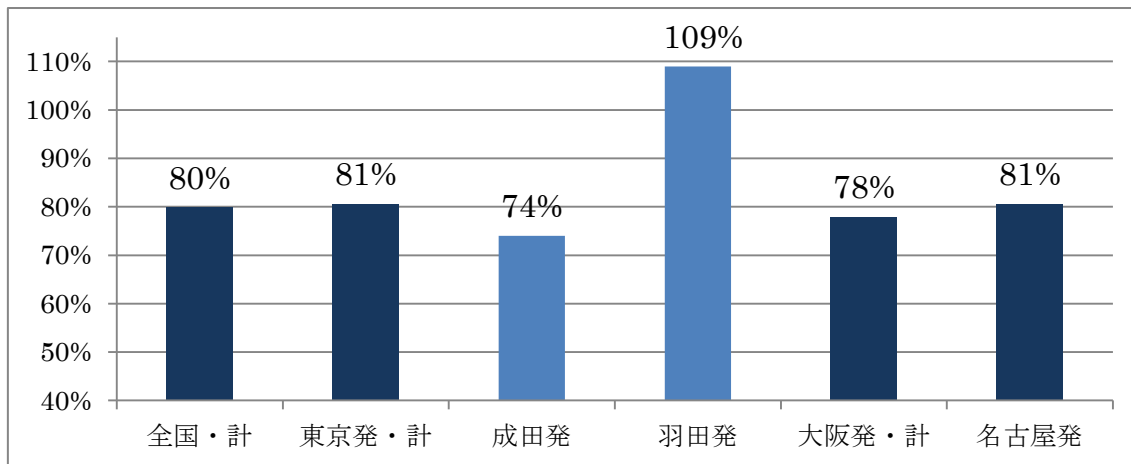
【本件に関するお問合せ先】

<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

1. 年末年始ツアー問合せ数、羽田発は引き続き好調。

2014年の年末年始期間(2014年12月20日～2015年1月4日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)の新規問合せ数(2014年7月1日～11月9日までの問合せを集計)は、前年比(昨年の年末年始期間)で全国計が80%。主要出発地別では羽田発が前年越えの109%となっている(データ1)。

■データ1： 2014年 年末年始期間の新規海外旅行問合せ数(前年比)



※1 全国計、各地発とも、前年問合せ実績を100%としたときの、2014年の問合せ実績を%で表示。東京発・計は成田発・羽田発の合計。大阪発・計は関西発・伊丹発の合計。全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地(福岡、札幌など)を含む。

※2 年末年始期間の定義は、

今年(2014年) 2014年12月20日(土)～2015年1月4日(日)

前年(2013年) 2013年12月21日(土)～2014年1月5日(日)

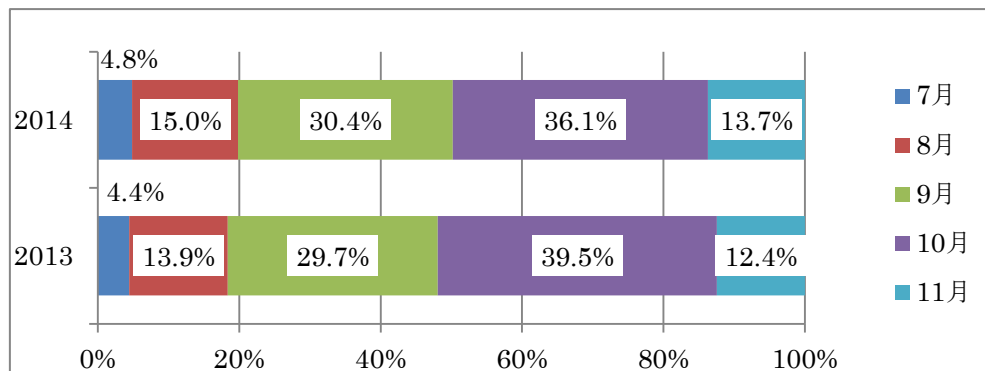
のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同じ年の7月1日～11月9日までに発生した問合せを集計。

※3 問合せの定義: AB-ROAD カスタマーのメールによる旅行会社への問合せと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値。

2. 年末年始ツアーの問合せ時期はやや早期化。

問合せ時期(7月1日～11月9日)のシェアをみると、「10月」が最も高く36.1%。次いで「9月」が30.4%。前年と比べると、2013年は「10月」のシェアが39.5%と高かったのに対し、2014年は全体的に9月以前の問合せの割合が高くなっており、問合せの総量は減ったが、消費者のアクションは前年に比べて早まっている(データ2)。

■データ2： 2014年 年末年始ツアーの問合せ時期

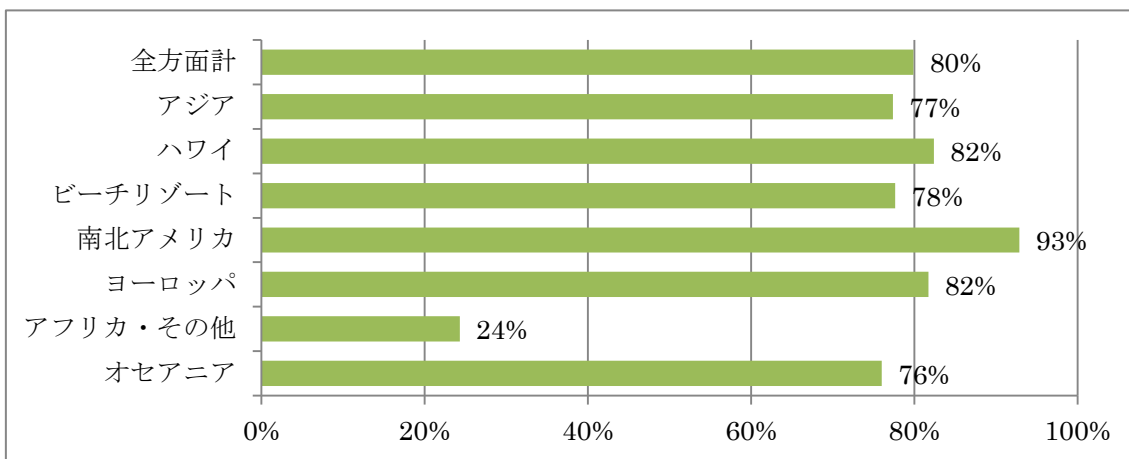


3. 年末年始ツアーの人気旅行先、1～3位は昨年と変わらず。

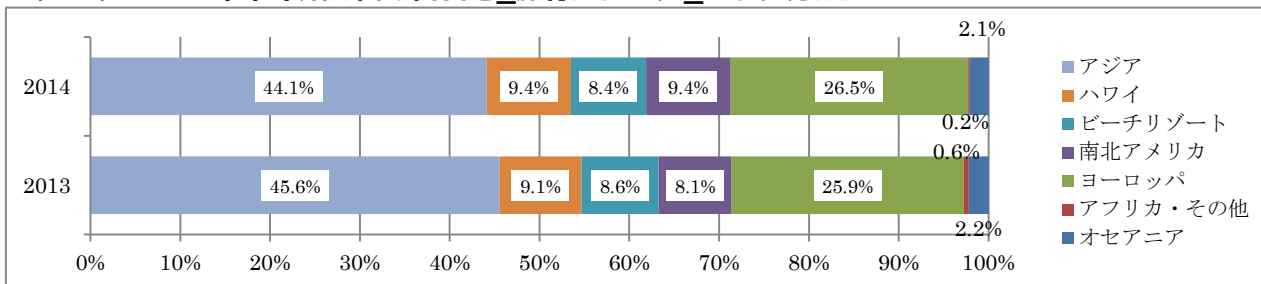
方面別に前年比をみると、全方面で前年を割り込んではいないが、「南北アメリカ」「ヨーロッパ」「ハワイ」など遠距離方面が平均を上回った（データ3）。シェアで比較しても、「アジア」「ビーチリゾート」などが減少し、上記3方面が伸びている（データ4）。

旅行先のシェアランキングでは、前年に引き続き「オアフ島（ハワイ）」が1位。2位「台北」、3位「パリ」は昨年同様の順位。4位はシェアをやや回復した「ソウル」が3ランクアップ、5位はこちらもややシェアを回復した「グアム」が前年の6位からランクアップ。

■データ3：年末年始期間中の問合せ_エリア別前年比



■データ4：年末年始期間の問合せ_旅行先シェア_エリア分類別



■データ5：年末年始期間の問合せ_旅行先シェアTOP10 /参考：2013年

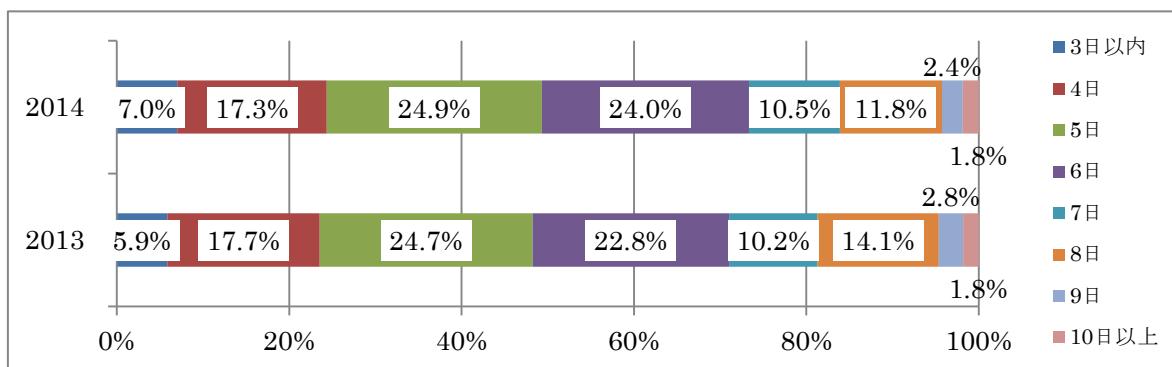
順位	2014年問い合わせ旅行先	シェア	順位	2013年問い合わせ旅行先	シェア
1	オアフ島	6.0%	1	オアフ島	5.8%
2	台北	5.6%	2	台北	5.0%
3	パリ	4.2%	3	パリ	4.3%
4	ソウル	3.9%	4	バンコク	3.4%
5	グアム	3.1%	5	バリ島 (インドネシア)	3.1%
6	ローマ	2.6%	6	グアム	2.9%
7	バルセロナ	2.5%	7	ソウル	2.7%
8	セブ島 (フィリピン)	2.4%	8	ローマ	2.5%
9	シンガポール	2.3%	9	バルセロナ	2.3%
10	バンコク	2.0%		セブ島 (フィリピン)	2.3%

※3 データ抽出の定義はデータ1※2と同様(以下同様)。 ※4 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング。

4. 年末年始ツアーの日程、希望する出発日はふた山に分散。日程は短期化。

ツアー日数に関しては、「5日」「6日」で全体の5割弱を占める。前年のシェアと比較すると、「8日間」「9日間」が減少し、全体的に短期化傾向（データ6）。平均旅行日数は5.7日（データ7）。出発希望日は12月26日から31日にかけてふた山（M字）に分散しており、27日がピーク。帰国日は12月30日から1月4日にかけてシェアが高く、ピークは1月2日と予想される（データ8）。

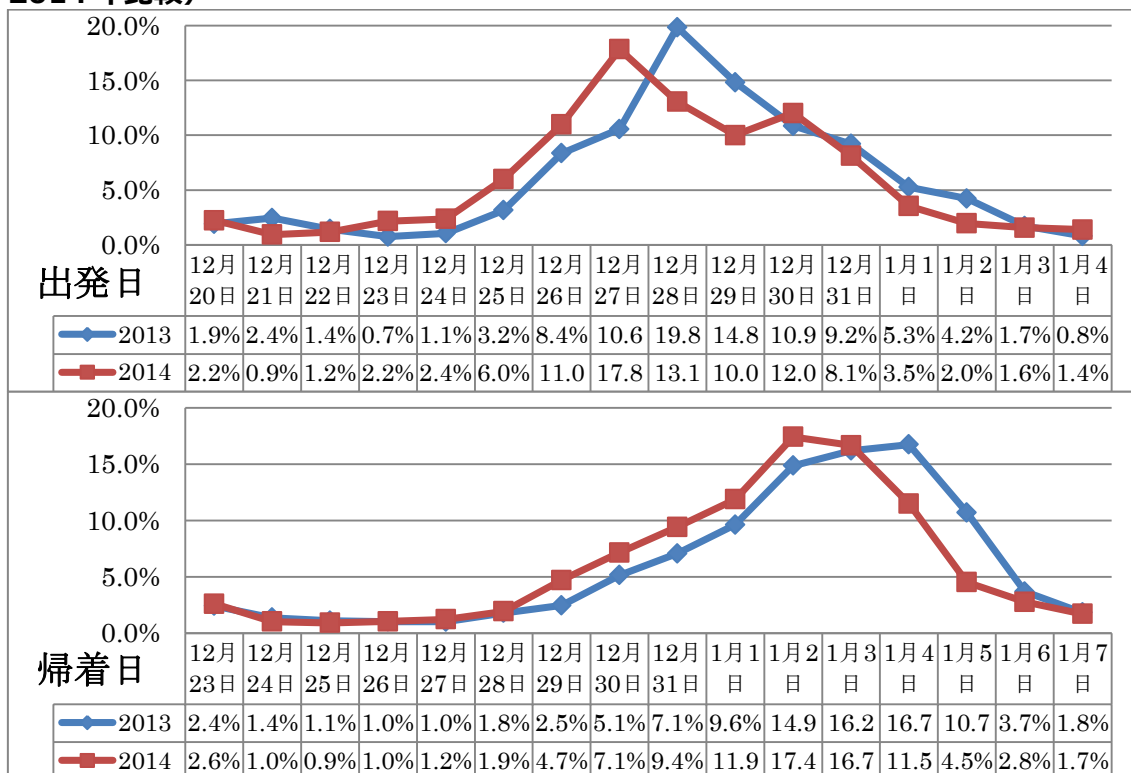
■データ6：年末年始ツアー問合せシェア_日数別（2013～2014年比較）



■データ7：年末年始ツアー問合せ_平均日数（2013～2014年比較）

年	2013	2014
平均日数	5.8日	5.7日

■データ8：年末年始ツアー問合せシェア_希望出発日・帰国日（日にち別、2013～2014年比較）



※4 主要な希望出発日・帰国日を集計。前後する希望出発日・帰国日もあるため、合計は100%にはならない。

<総評・解説>

**日並びと円安影響で、好調だった昨年に比べるとゆっくりとした動き。
羽田発の直行便がある都市は人気上位を維持。**

この冬のカレンダーは12月29日が月曜日で、この日が休めると12月27日(土)から最大9連休となるが、26日(金)で仕事納めというわけにはいかない人もいることから、出発希望日は12月27日と30日にふた山があり、29日の月曜日を休める人と休めない人で日程や行先に差が出ていると考えられる。また、平均的な旅行期間も短くなりがちな状況となっている。さらにこここのところの為替市況(昨年末に比べ、約1割の円安)もあり、全体的にはここ数年の中では問合せ数の途中経過が少ない。ただし、方面的には近場に集中というわけではないので、短い日数なりに行き先や見どころを絞って、遠くまで出かける人は出かけるという状況で、どちらかという懐具合よりもカレンダーの影響が色濃いのではないかと思われる。また、増便効果がある羽田発ツアーに関しては前年比109%と主要空港発の中では唯一前年実績を超える問合せ状況となっており、2014年3月30日の拡張以降、引き続き好調を維持している。

旅行先でも、トップ10のうち、1~4位を含む6都市(オアフ、台北、パリ、ソウル、シンガポール、バンコク)は羽田発の直行便がある都市となっている。シェアトップは定番人気のハワイ・オアフ島で、以下2位台北、3位パリまでは昨年と同様であった。また、このところシェアを落としていた韓国・ソウルはやや復活の兆しで前年の7位から4位に浮上、ビーチリゾートではグアムも順位・シェアともにアップさせた。

出発希望日は12月27日と30日にふた山があり、29日の月曜日を休める人と休めない人で日程や行先に差が出ていると考えられる。例年に比べて動きがゆっくりとはいえ、そもそも予約の難易度が高い年末年始だけに、まだ決めかねている人は一刻も早く問合せをしたほうがよさそうだ。